

事業番号	02 05 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）				当初要求	口当初予算案	口補正予算案	■点検
事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課	実施期間	S47～	E-mail	kotsu@pref.nagano.lg.jp
		総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)							
8つの重点目標									
総合的に展開する重点政策	3-8 生活を支える地域交通の確保				3-7 先端技術の積極的な活用・導入				
	3-6 中山間地域での暮らしの価値の再発見								

1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 地域交通については、県民の生活の足として重要な役割を担っており、持続可能な交通体系を構築する必要がある一方で、利用者数の減少により乗合バス事業者等の収益の悪化や市町村の財政負担が増加し、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 バス、トラック事業者には、小規模事業者が多く、また、経営状況が厳しいこと等から、各業界の協会が中心となり、運輸事業の有効性を高める必要がある。									
	【目指す姿】 持続可能な公共交通の構築 ・広域的、基幹的な地域間幹線バス路線の確保・維持と利便性を向上させる。 ・市町村、交通事業者等と協働して、地域の実情に即した持続可能な交通体系を構築し、利用者の獲得・定着を図る。 ・営業用バス・トラックの輸送サービスの改善、安全運行の確保、環境と共生した安全安心な輸送の確保									
【実施内容】 乗合バス事業者・タクシー事業者・市町村の支援、利用促進のための啓発、バス協会・トラック協会への助成、利便性向上のためのシステム拡張										
指標及びその達成状況 [↗:改善、↘:悪化、→:変化なし]										
No.	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値	達成状況	事業コスト	区分(単位:千円)	H30年度	R1年度
								前年度繰越	0	0
1	地域間幹線バスの1日当たり輸送量	33.8人	33.2人↘	33.2人→	32.7人	達成		現計予算	608,507	614,863
2	地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率	73.1%	76.6%↗	79.3%↗	91.1%	未達成		合計(A)	608,507	614,863
3	営業用トラックの交通事故件数	213件	197件↗	161件↗	213件以下	達成		うち一般財源	573,511	576,828
4	長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」のダウンロード数	24,266DL	38,083DL↗	66,963DL↗	48,000DL	達成		決算額(B)	601,762	607,373
								職員数(人)	4	4
成果指標設定理由	①地域間幹線バスの利用者を維持するため、1日当たり輸送量を成果目標に設定 ②乗合バス車両のバリアフリー化促進のため、地域間幹線バス運行事業者の低床バス導入率を成果目標に設定 ③営業用トラックの安全運行確保のため、交通事故件数を成果目標に設定 ④生活バス路線の維持確保につながる「信州ナビ」のダウンロード数を成果目標に設定									
達成状況の分析	①地域間幹線バスの1日あたり輸送量については、前年度と同値となり、目標を達成した。 ②地域間幹線バス運行事業者の乗合バスへの低床バス導入率については、目標未達成となったが、平成30年度から令和元年度にかけて2.7ポイント増となっており、導入率は改善されているところ。 ③営業用トラックの交通事故件数については、安全対策等の実施により161件と目標比52件減少となり、目標を達成した。 ④長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」のダウンロード数は順調に推移しており、目標値を18,963DL上回り目標を達成した。									

主な取組	✓地域間幹線システムの基盤強化 ・県でバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する事業者（4事業者、継続10台、新規導入3台）に貸与することでバス路線の基盤強化を行った。	 
	✓信州ナビの機能拡張・認知度向上 ・信州ナビの利用者属性に応じ、イベント情報・特集記事等の中の親和性の高い情報を利用者のスマートフォン端末等へプッシュ通知（発信）可能な機能を実装 ・Facebook・LINE等のSNS公告、検索連動型公告、経路検索サービスや旅行サイトでの広告に加え、鉄道駅スペース等を活用した効果的な広告を打ち出し、信州ナビのダウンロード及び利活用に訴求	
	✓地域公共交通の最適化サポート ・地域公共交通ネットワークの再構築を住民にも見えやすい形で取組み、地域公共交通の維持確保を目指すため、既存バス路線の現状・課題を診断するカルテを作成	

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	課題等	今後の方向性
	・地域交通は生活の足として重要な役割を担っているところだが、利用者数の減少等により事業者等の収益が悪化しており、継続的な運行に当たって大きな課題となっている。 ・現行の信州ナビアプリでは、バスロケーションシステムの実装等により位置データ、観光地やバス停の検索データ等が集まっているが、それらのデータを分析するツールが無い場合、有用な情報が県の交通・観光施策に活かされていない。	・地域交通の最適化の検討を促進するため、バス路線のデータの収集・分析を行いカルテを作成する等、新たな施策も行いながら、引き続き公共交通の継続的な運行確保に努める。 ・信州ナビで集めた利用者属性や操作履歴などのデータを、わかりやすい形で整理・分析することで他の施策に活かすことが出来る機能を実装

事業名	バス等振興対策事業費	部局	企画振興部	課・室	交通政策課
-----	------------	----	-------	-----	-------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	地域間幹線バス路線確保維持費補助金		269,018 千円	275,946 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	地域間幹線バス路線の運行欠損費に対する補助金	補助金	地域間幹線バス路線の確保・維持を図るため、乗合バス事業者が運行する地域間幹線バス路線の運行欠損費を補助 【補助件数 5件（5者 28系統）、補助総額 173,476千円】	
2	地域間幹線バス路線で使用するために購入した車両の減価償却費等に対する補助金	補助金	地域間幹線バスのバリアフリー化、老朽化対策を促進するため、乗合バス事業者が購入した低床バスの減価償却費等を補助 【補助件数 4件（4者 23台）、補助総額 24,315千円】	
3	県有民営による幹線バス路線確保対策事業	直接	地域間幹線バス路線の基盤強化を図るため、県がバス車両を購入し、地域間幹線バス路線を運行する乗合バス事業者に貸与 【購入実績 3台 購入総額 78,155千円】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	運輸事業振興助成補助金		305,034 千円	309,040 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	運輸事業振興助成補助金	補助金	バス・トラックの安全・安心な輸送の確保を図るため、長野県バス協会・長野県トラック協会が行う輸送サービスの改善や安全運行の確保等の取組に対して助成 【補助件数 2件（2者）、補助総額 309,040千円】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	地域交通ベストミックス構築事業		8,178 千円	5,737 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	地域交通ベストミックス構築事業	補助金	市町村等が実施する、地域交通の見直しに係る調査や研究等の取組を支援 【補助件数 5件（継続5地域）、補助総額 5,737千円】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	公共交通乗換案内サイト構築事業		15,932 千円	7,147 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	「信州ナビ」へのターゲット型プッシュ通知機能実装	委託	利用者の属性に応じ、イベント情報・特集記事等の中の親和性の高い情報を利用者のスマートフォン端末等へプッシュ通知（発信）可能な機能を長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」に実装	
2	「信州ナビ」の認知度向上のためのSNS等を活用したPR	委託	長野県観光・交通案内アプリ「信州ナビ」の認知度向上のため、Facebook・LINE等のSNS公告、検索連動型公告、経路検索サービスや旅行サイトでの広告に加え、鉄道駅スペース等を活用した広告を実施 【信州ナビダウンロード数（累計） 66,963DL】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
5	みんなのタクシー利活用促進事業		3,600 千円	4,900 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	ユニバーサルデザインタクシーの導入補助	補助 金	A I 配車やキャッシュレス化等の活性化策を行うタクシー事業者に対してユニバーサルデザインタクシーの導入補助を実施 【補助件数 6件(6者 6台)、補助総額 3,600千円】	
2	タクシー運転手確保・育成支援	補助 金	タクシー協会が実施する女性ドライバー確保のための取組を支援 【補助対象 1件(1者)、補助総額 1,300千円】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
6	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業		- 千円	60 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	多角連携型モビリティ・ネットワーク形成事業	直接	地域交通の課題解消を促進するため、市町村に対してくらしの足の最適化促進の他、観光交通の充実等多様な連携に対する助言等を行うモビリティアドバイザーを派遣 【モビリティアドバイザー派遣市町村 2市町村】	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
7	地域公共交通最適化サポート事業		- 千円	4,543 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施 方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	地域公共交通最適化サポート事業	委託	地域交通の最適化にかかる市町村、事業者等の取組を推進するため、地域バス路線のデータ収集・分析を行い、現状・課題を診断するカルテを作成 【カルテ策定広域 3広域(北信・南信州・木曾地域)】	